

平成27年度 委員会報告書

委員会： 衛生委員会

【年間目標】

「働き易い・辞めたくない職場作り」を目標に掲げ、衛生委員が一丸となって委員会活動に取り組む。

【活動報告】

1. 一年間を通して下記の活動を行う。

4月：産業医によるメンタルヘルスケア開催。

5月：あったかサークル活動発足。志木市民体育館にて活動開始。

職員の思い・声に応えられるように『意見箱』を職員休憩室に設置する。

6月：春期 健康診断実施後の産業医による結果アドバイス。

7月：あったかサークルの広報・呼びかけの為、施設内に掲示板設置する。

8月：意見箱より、喫煙所の充実（テント・ベンチ）を設置する。

フットサルサークルの発足。志木市第二小学校にて活動開始。

9月：意見箱より、職員出勤時の雨具用のフリーラックを設置する。

10月：バーベキュー大会を施設4階で開催する。

11月：産業医によるインフルエンザ摂取の実施。

12月：冬期 健康診断実施後の産業医による結果アドバイス。

2月：メンタルヘルスチェックシートの案内・実施。

意見箱より、喫煙所がある休憩室に内線表を設置する。

3月：産業医による、メンタルヘルス講習会の開催。

2. 具体的な取組み

① 働き易い環境改善のため、先ず始めに行ったことは、職員達の声聞く事です。その為に『意見箱』を設置し職員の声を集めることにしました。

② 辞めたくない職場作りとして、仲間との絆を作る場を考えました。ユニットを越えた仲間つくりとして、体を動かせる場の提供としてのサークルの発足と、

以前から職員の希望にあったフットサルサークルの発足をサポートしました。また、その活動報告をホームページや専用の掲示板を設置して、言葉や写真を使って施設内外に発信しました。

- ③ 今年度から産業医の吉松先生にも委員会への積極的な参加を促しました。職員の健康管理という側面から、腰痛防止の体操やメンタルケアについてご指導を頂いてきました。

【委員長の総括】

あったかの家に勤め、衛生委員会を5年間携わって参りました。

それまでは、委員長と言う位置付けは無く、皆が平等に司会・書記と月ごとに役割分担をすることで委員会を執り行っていました。司会・書記の順番が回って来る時期に差し掛かると、どうにか良い流れ・雰囲気ですべてを進めないと気持ちで、緊張と不安が皆の表情からも伺えて居た。私自身も馴れも感じ流れは掴んでいるも、司会・書記には馴れはなく順番が回ってくると回を増すごとに重圧を強く感じていた。

そして、五年目の委員会。委員長として任命を受けた今年。私以外のメンバーは皆が先輩であった。その中で委員会の指揮を執ること。その心境は、「まさか・・・？」の一言に尽きた。

委員会活動が始まったが、「人を束ねるなんて自分にできるのか？」と、不安とヤル気が妙に噛み合わず空回り。議論中に熱くなり、メンバーとも声を荒げ合い雰囲気を悪くする事も多々あった。そのことは、今は反省しか有りません・・・。

昨年までの衛生委員会は、イベントマンとしての役割が強い印象の委員会であった。しかし、今年度は、自分が想像していたよりもメンバーと数多くの協議をし、その結果、多くの施策が実行できました。これは、今後の私の自信となり、人として一歩前進できたと胸を張って言える強みになりました。今後も色々と不安になると思いますが、また違う場面でもこの経験を活かし邁進して行きたいと思えます。

最後に、人を束ねる上で、再認識・反省したことがあります。

- ① 人を束ねることの難しさ。
- ② お互いを尊重し、相手の声に耳を傾ける事の大切さ。
- ③ 自分本位になってしまった時の危機感。
- ④ 自身の発言で、言葉の使い方を間違えた時に相手に与える不快感。
- ⑤ メンバー主導の下、委員会を束ねる委員長としての責任感。
- ⑥ 自分の発言・行動に責任を持つことの重要性。

そして、一番学んだことは、『思いやりの精神』です。その心を常に持ち続けることの重要性を忘れないで仕事に取り組みたいです。

以上